

ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分状況等届出書（保管事業者及び所有事業者用）

令和 6年 4 月 18 日

大分市長 足立 信也 殿

届出者
住 所 大分県大分市大字中ノ洲2番地
氏 名 鶴崎共同動力㈱代表取締役社長 稗田 隆紀
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 097-521-5132

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法第8条第1項（法第15条及び第19条において読み替えて準用する場合を含む。）の規定に基づき、令和5年度のポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分の状況等を届け出ます。

1. ポリ塩化ビフェニル廃棄物について

保管事業場の名称	鶴崎共同動力㈱鶴崎事業所			
保管事業場の所在地	大分県大分市大字中ノ洲2番地			
特別管理産業廃棄物管理責任者の職名及び氏名	ユーティリティ課	鍋島 法雄	電話番号	097-521-5132
保管の場所	大分県大分市大字中ノ洲2番地			

①前年度の3月31日に保管していたポリ塩化ビフェニル廃棄物

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					処分予定 年月	量		濃度 区分	保管の状況				処分業者との 調整状況	参考事項
		定格 容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等		台数又は 容器の数	総重量 (1台当たり 重量×台数)		容器の 性状	囲い等 の有無	分別・ 混在の別	漏れ等 のおそれ		
5-001- 05～06	微量PCB汚染 電気機器等 (低圧コンデンサ)	4μF	マルコン	MP-CAPACITOR	不明	—	—	2台	0.2kg	低濃度	金属 製箱	有	混在	なし	—	

（日本工業規格 A列4番）



(第2面)

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					処分予定 年月	量		濃度 区分	保管の状況				処分業者との 調整状況	参考事項
		定格 容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等		台数又は 容器の数	総重量 (1台当たり 重量×台数)		容器の 性状	囲い等 の有無	分別・ 混在の別	漏れ等 のおそれ		
5-002-04	高圧コンデンサ	0.1 μ F ×3	ニチコン	AF3320R3 TC1	1993年	—	—	1台	15.1kg	低濃度	金属 製箱	有	混在	なし		1B FDF A機 用SA
5-002-05	〃	0.1 μ F ×3	ニチコン	AF3320R3 TC1	1992年	—	—	1台	15.1kg	〃	〃	〃	〃	〃		1B FDF B機 用SA
5-002-06～07	〃	0.1 μ F ×3	ニチコン	AF3320R3 TC1	1994年	—	—	2台	31.0kg	〃	〃	〃	〃	〃	—	1B BFP A/B 機用SA
5-002-08	〃	0.1 μ F ×3	ニチコン	AF3320R3 TC1	1997年	—	—	1台	14.9kg	〃	〃	〃	〃	〃	—	1B BFP C機 用SA

②前年度中に新たに保管することとなったポリ塩化ビフェニル廃棄物

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					量		濃度 区分	保管開始 年月日	保管開始 理由	参考事項
		定格 容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は 容器の数	総重量 (1台当たり重 量×台数)				
5-001-01～04	微量PCB汚染 電気機器等 (低圧コンデンサ)	0.5 μ F	ニチコン	OB- S3SG1W	1989年	—	4台	0.3kg	低濃度	2023年11月06日	計画更新	
5-001-05～06	〃	4 μ F	マルコン	MP-CAPACI TOR	不明	—	2台	0.2kg	〃	2024年2月13日	計画更新	
5-002-01	高圧コンデンサ	0.1 μ F ×3	ニチコン	AF3320R3 TXG0622	1990年	—	1台	16.0kg	低濃度	2023年11月06日	計画更新	GT1受電2次 SA
5-002-02～03	〃	0.1 μ F ×3	ニチコン	AF3320R3 TC1	1990年	—	2台	32.6kg	〃	〃	〃	#1WHB BFP A/B機用SA
5-002-04	〃	0.1 μ F ×3	ニチコン	AF3320R3 TC1	1993年	—	1台	15.1kg	低濃度	2024年2月13日	計画更新	1B FDF A機 用SA
5-002-05	〃	0.1 μ F ×3	ニチコン	AF3320R3 TC1	1992年	—	1台	15.1kg	〃	〃	〃	1B FDF B機 用SA

(第3面)

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					量		濃度 区分	保管開始 年月日	保管開始 理由	参考事項
		定格 容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は 容器の数	総重量 (1台当たり重 量×台数)				
5-002- 06～07	高圧コンデンサ	0.1μF ×3	ニチコン	AF3320R3 TC1	1994年	—	2台	31.0kg	低濃度	2024年2月13日	計画更新	1B BFP A/B機用S A
5-002- 08	〃	0.1μF ×3	ニチコン	AF3320R3 TC1	1997年	—	1台	14.9kg	低濃度	〃	〃	1B BFP C機 用SA

③前年度中に他の事業場又は他の事業者の事業場において保管することとなったポリ塩化ビフェニル廃棄物（④の場合を除く。）

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					量		濃度 区分	保管終了 年月日	保管終了 理由	移動先の保管の場所並びに事業者 又は事業場の名称及び所在地	参考事項
		定格 容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は 容器の数	総重量 (1台当たり 重量×台数)					
	該当なし												

④前年度中に自ら処分し、又は処分を委託したポリ塩化ビフェニル廃棄物

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					量		濃度 区分	自ら処分した場合		処分を委託した場合			参考事項
		定格 容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は 容器の数	総重量 (1台当たり 重量×台数)		処分 年月日	処分後の廃棄物の 種類及び処分先	処分委託 年月日	処分受託者の 名称	処分 年月日	
4-001- 80～87	微量PCB汚染 電気機器等 (低圧コンデンサ)	0.5μF	ニチコン	ES1520R5 DXX0842	1996年	—	8台	0.6kg	低 濃度	—	—	2023年 12月7日	(株)富士クリーン	2024年 1月12日	
4-001- 88	〃	8μF	タカシ	CPBMW-C	1967年	—	1台	1.5kg	〃	—	—	〃	〃	〃	
4-001- 89～92	〃	2μF	ニチコン	ED102020 DXB0055	1995年	—	4台	1.0kg	〃	—	—	〃	〃	〃	

(第4面)

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					量		濃度 区分	自ら処分した場合		処分を委託した場合			参考事項
		定格 容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は 容器の数	総重量 (1台当たり 重量×台数)		処分 年月日	処分後の廃棄物の 種類及び処分先	処分委託 年月日	処分受託者の 名称	処分 年月日	
4-002-01～02	高圧コンデンサ	0.1 μ F ×3	ニチコン	AF3320R3 TXG0622	2003年	—	2台	32.0kg	〃	—	—	2023年 12月7日	(株)富士クリン	2024年 1月12日	
4-002-03～04	〃	0.1 μ F ×3	ニチコン	AF3320R3 TC1	1993年	—	2台	32.6kg	〃	—	—	〃	〃	〃	
4-002-05	〃	0.1 μ F ×3	ニチコン	AF3320R3 TXG0542	1991年	—	1台	16.2kg	〃	—	—	〃	〃	〃	
5-001-01～04	微量PCB汚染 電気機器等 (低圧コンデンサ)	0.5 μ F	ニチコン	OB-S3SGIW	1989年	—	4台	0.3kg	〃	—	—	〃	〃	〃	
5-002-01	高圧コンデンサ	0.1 μ F ×3	ニチコン	AF3320R3 TXG0622	1990年	—	1台	16.0kg	低 濃度	—	—	〃	〃	〃	
5-002-02～03	〃	0.1 μ F ×3	ニチコン	AF3320R3 TC1	1990年	—	2台	32.6kg	〃	—	—	〃	〃	〃	

2. ポリ塩化ビフェニル使用製品について

所在事業場の名称	1.と同じ				
所在事業場の所在地	1.と同じ				
ポリ塩化ビフェニル使用製品に係る事業の管理 責任者の職名及び氏名	1.と同じ			電話番号	1.と同じ
所在の場所	1.と同じ				

(第5面)

①前年度の3月31日に使用していたポリ塩化ビフェニル使用製品（高濃度ポリ塩化ビフェニル使用電気工作物を除く。）

番号	製品の種類	製品の型式等					廃棄の見込み		量		濃度 区分	参考事項
		定格 容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	廃棄予定 年月	処分業者との 調整状況	台数又は 個数	総重量 (1台当たり重 量×台数)		
001-02	高圧コンデンサ	2000kVA	日新 電気	ユニバーサル	1988年 5月	—	—	—	1	1,800kg	低濃度	2.1mg/kg 2s/s 21号系 スタコンSR
004-03	高圧トランス	600mA	オリジン	—	1975年 4月	—	—	—	1	1,800kg	低濃度	1.6mg/kg L1EPシリコン 変圧器(Ⅰ)
004-04	高圧トランス	600mA	オリジン	—	1975年 4月	—	—	—	1	1,800kg	低濃度	1.6mg/kg L1EPシリコン 変圧器(Ⅱ)
004-05	高圧トランス	200kVA	高岳	—	1975年 4月	—	—	—	1	1,150kg	低濃度	30mg/kg WF 1号系 動力Tr
005-01	計器用変成器	3×200VA	日立	TOEGLV -MNYC	1975年	—	—	—	1	2,450kg	低濃度	1.8mg/kg SW/S 2号線 GPT
006-01	ブッシング	1200A	三菱	OT-0	1974年	—	—	—	1	不明	低濃度	1.5mg/kg SW/S 2号線 ブッシング(U)
006-02	ブッシング	1200A	三菱	OT-0	1974年	—	—	—	1	不明	低濃度	1.7mg/kg SW/S 2号線 ブッシング(V)
006-03	ブッシング	1200A	三菱	OT-0	1974年	—	—	—	1	不明	低濃度	1.6mg/kg SW/S 2号線 ブッシング(W)
007	微量PCB汚染 電気機器等 (低圧コンデンサ)	0.5～60 μF	ニチコン 日立	—	1970～ 1990年	—	—	—	74台	—	低濃度	各配電盤内 低圧コンデンサ
008-01	高圧コンデンサ	0.1μF×3	ニチコン	AF3320R3 TXG0542	1991年	—	—	—	1台	16kg	低濃度	TW-B-P-I機 用SA

(第6面)

②前年度中に新たに所有することとなった高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品（高濃度ポリ塩化ビフェニル使用電気工作物を除く。以下同じ。）

番号	製品の種類	製品の型式等					量		所有開始 年月日	所有開始 場所	所有開始 理由	参考事項
		定格 容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は 容器の数	総重量 (1台あたり重 量×台数)				
	該当なし											

③前年度中に他の事業場又は他の事業者の事業場において所有することとなった高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品

番号	製品の種類	製品の型式等					量		所有終了 年月日	所有終了 理由	移動先の所在の場所並びに事業者 又は事業場の名称及び所在地	参考事項
		定格 容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は 容器の数	総重量 (1台あたり重 量×台数)				
	該当なし											

- 備考
- この届出書は、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管又はポリ塩化ビフェニル使用製品の所有に係る事業場ごとに作成し、毎年度6月30日までに提出すること。
 - 届出者や事業場に関する情報に変更があった場合には、速やかに都道府県知事に連絡すること。
 - 「保管事業場の名称」及び「保管事業場の所在地」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管の場所に係る事業場を記入すること。また、「所在事業場の名称」及び「所在事業場の所在地」の欄には、ポリ塩化ビフェニル使用製品の所在の場所に係る事業場を記入すること。
 - 「番号」の欄には、それぞれ先頭に「前年度の元号数－」を加えた整理番号（平成28年度の保管状況を届け出る場合の例：28－001）を付すこと。なお、前回までの届出において既に当該事業場における番号が付されているものについては、引き続きその番号を記入すること。
 - 「廃棄物の種類」及び「製品の種類」の欄には、記入要領に沿って、その名称を具体的に記入すること。
 - 「廃棄物の型式等」及び「製品の型式等」の欄には、変圧器（トランス）等の銘板に記載されている「定格容量」、「製造者名」、「型式」、「製造年月」及び「表示記号等」を記入すること。なお、「表示記号等」については、記入要領に沿って、その名称を具体的に記入すること（例：不燃性油）。
 - 「処分予定年月」の欄には、高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物を自ら処分し、又は他人に委託することを予定している年月を記入すること。低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物については記入しなくて構わない。
 - 「量」の欄のうち、「台数又は容器の数」の欄には、ポリ塩化ビフェニルを使用する電気機器については台数（個数）を、その他のものについては保管している容器の数（缶数等）を、それぞれ単位とともに記入すること。ただし、電気機器であっても、小型のものを容器にまとめて保管している場合であって台数（個数）を把握することができないときは、保管している容器の数（缶数等）を単位とともに記入すること。
 - 「量」の欄のうち、「総重量」の欄には、ポリ塩化ビフェニルを使用する電気機器については、1台当たりの重量に台数（個数）を掛けた重量を記載すること。その他のものについては、容器込みでの重量を記載すること。
 - 「濃度区分」の欄には、「高濃度」、「低濃度」又は「不明」のうち該当するものを記入すること。なお、「高濃度」とは高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物又は高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品の略称、「低濃度」とは高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物以外のポリ塩化ビフェニル廃棄物又は高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品以外のポリ塩化ビフェニル使用製品の略称である。